

令和8年度（令和7年度実施） 教員採用選考を振り返って

<u>選考結果</u>	1 ページ
<u>選考基準</u>	2 ~ 4 ページ
<u>集団討議課題</u>	5 ページ
<u>実技試験内容</u>	6 ページ

宮城県教育委員会

令和8年度宮城県公立学校教員採用候補者選考 第2次選考結果

※大学3年生特別選考を除く。

校種・職種	教科等	令和8年度			令和7年度		
		1次受験者及び 1次免除者	2次受験者	合格者	1次受験者及び 1次免除者	2次受験者	合格者
小学校	地域枠（気仙沼）	8	8	4	2	2	2
	地域枠（東部）	16	16	9	12	12	5
	地域枠（北部）	14	13	8	13	13	5
	特別支援学校枠	32	29	11	42	40	10
	英語枠	募集せず			2	2	2
	一般枠	213	209	146	236	221	206
	小計	283	275	178	307	290	230
中学校	国語	37	31	21	32	29	24
	社会	96	30	18	102	36	8
	数学	52	24	11	43	25	14
	理科	28	26	17	34	23	20
	技術	4	4	2	3	2	1
	英語	46	39	22	50	26	14
	小計	263	154	91	264	141	81
中・高	保育	212	72	26	224	58	19
	音楽	21	20	13	37	19	14
	美術	21	20	6	19	18	9
	家庭	15	15	8	20	19	14
	小計	269	127	53	300	114	56
高校	国語	25	21	12	27	25	15
	公民	37	21	5	19	15	4
	地歴	64	40	13	56	38	9
	数学	61	23	9	58	34	8
	理科	42	33	11	56	44	12
	農業	10	8	2	8	8	3
	水産	1	1	1	2	2	2
	工業	19	17	14	12	11	7
	商業	7	7	2	14	13	3
	情報	10	9	2	9	7	5
	英語	36	28	17	36	29	16
	看護	2	2	1	2	2	1
	理療	募集せず			3	3	2
	福祉	6	5	2	5	5	2
	小計	320	215	91	307	236	89
養護教諭		147	37	7	145	47	7
栄養教諭	栄養教諭A	1	1	1	2	2	2
	栄養教諭B	12	8	1	募集せず		
	小計	13	9	2	2	2	2
合 計		1,295	817	422	1,325	830	465

○宮城県公立学校教員採用候補者選考 選考基準

(1) 第1次選考

- 筆記試験（専門）、筆記試験（教養）の結果を選考資料とし、願書・履歴書の記載内容等を勘案して総合的に選考します。
- 筆記試験（専門）、筆記試験（教養）のいずれかにおいて著しく低い成績があった場合には、不合格となることがあります。
- 加点申請を行い、要件を満たしていることを確認できた者には、加点をします。

1) 筆記試験（専門） 100点

校種・教科		主な評価の観点
小学校		
中学校	国語・社会・数学・理科・技術・英語	
中・高	保健体育・音楽・美術・家庭	
高等学校	国語・公民・数学・農業・商業・看護・情報・福祉・英語 地理歴史・理科・工業・水産 (共通40点・専門60点)	教員として必要な教科科目の専門的知識や指導力等を身に付けているか。
養護教諭		養護教諭や栄養教諭として必要な専門的知識や指導力等を身に付けているか。
栄養教諭		教員として必要な教養が習得できているか。

2) 筆記試験（教養） 100点

選考内容	主な評価の観点
教養	教員として必要な教養が習得できているか。

3) 加点

加点対象	グループ	加点要件	加点	申請時提出書類
全出願者	I	特別支援学校教諭の普通免許状、又は盲学校・聾学校・養護学校教諭の普通免許状を取得あるいは取得見込みの者 ※ 各校種の特別支援学校枠に出願する者も、申請がないと加点対象とはなりません。	5点	免許状の写し 又は 取得見込証明書
	II	中学校教諭技術の普通免許状を取得あるいは取得見込みの者 ※ 中学校技術に出願する者も、申請がないと加点対象とはなりません。	5点	
	III	高等学校教諭情報の普通免許状を取得あるいは取得見込みの者 ※ 高等学校情報に出願する者も、申請がないと加点対象とはなりません。	5点	
	IV	公認心理師又は臨床心理士の資格を有している者	5点	登録証の写し又は 合格証書の写し 若しくは 資格認定証の写し
	V	司書教諭の資格を取得あるいは取得見込みの者	5点	修了証書の写し 又は修了見込みが分 かる書類
小学校	VI	幼稚園教諭の普通免許状を取得あるいは取得見込みの者	5点	免許状の写し 又は 取得見込証明書
	VII	中学校教諭（外国語（英語）・技術を除く）の普通免許状を取得あるいは取得見込みの者 中学校教諭外国語（英語）又は高等学校教諭外国語（英語）の普通免許状を取得あるいは取得見込みの者	5点	
		P3の表に示す①の資格・スコアを取得した者	5点	
				資格・スコアの

		P3の表に示す②の資格・スコアを取得した者	8点	証明書の写し
		中学校教諭外国語（英語）又は高等学校教諭外国語（英語）の普通免許状を取得あるいは取得見込みの者で、P3の表に示す①の資格・スコアを取得した者	7点	免許状の写し 又は 取得見込証明書
		中学校教諭外国語（英語）又は高等学校教諭外国語（英語）の普通免許状を取得あるいは取得見込みの者で、P3の表に示す②又は③の資格・スコアを取得した者	10点	及び 資格・スコアの 証明書の写し
中学校 中・高	VIII	小学校教諭の普通免許状を取得あるいは取得見込みの者	5点	免許状の写し 又は 取得見込証明書
		出願教科以外の中学校教諭（技術を除く）の普通免許状を取得あるいは取得見込みの者	5点	
中学校 英語 高等学校 英語	IX	P3の表に示す②の資格・スコアを取得した者	5点	資格・スコアの 証明書の写し
		P3の表に示す③の資格・スコアを取得した者	10点	
高等学校 地理歴史 ・ 公民 高等学校 国語 中・高家 庭 高等学校 福祉	X	高等学校教諭地理歴史の普通免許状と高等学校教諭公民の普通免許状の両方を取得あるいは取得見込みの者	5点	免許状の写し 又は 取得見込証明書
		高等学校教諭書道の普通免許状を取得あるいは取得見込みの者	5点	
		高等学校教諭家庭の普通免許状と高等学校教諭福祉の普通免許状の両方を取得あるいは取得見込みの者	5点	

表 英語外部試験の資格・スコア等

	英検	TEAP	GTEC	TOEFL(iBT)	TOEIC	IELTS	ケンブリッジ 英語検定
①	2級	225～308	930～1179	42～71	L&R+S&W 790～1090	4.0～5.0	140～159
②	準1級	309～374	1180～1349	72～94	L&R+S&W 1095～1300	5.5～6.5	160～179
③	1級	375～	1350～	95～	L&R+S&W 1305～	7.0～	180～

(2) 第2次選考

- 個人面接（適性検査も含む）、集団討議及び実技試験の結果を選考資料とし、第1次選考の成績、願書・履歴書の記載内容等を勘案して総合的に選考します。
- 個人面接（適性検査も含む）、集団討議及び実技試験のいずれかにおいて著しく低い評価があった場合には、採用候補者名簿に登載しません。
- 合格者は採用候補者名簿に登載します。

1) 集団討議及び個人面接

選考内容	評価区分	主な評価の観点
集団討議	集団討議を総合的に評価し、AからDまでの4段階評定を行います。	<ul style="list-style-type: none"> テーマを正しく理解し、目的意識や問題意識を持ち、建設的な内容で討議ができるか。 他者とのコミュニケーションを円滑に行うことができる力を備えているか。
個人面接 I ・ 個人面接 II	人物を総合的に評価し、AからDまでの4段階評定を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 教育への情熱や学び続ける意欲等、教員としてふさわしい資質と能力を備えているか。 ものの見方や考え方方が教育公務員としてふさわしいかどうか。

2) 実技試験：実技試験を行う全ての校種・教科についてAからEまでの5段階評定を行います。

校種・教科・実技内容			主な評価の観点
中・高	保健体育	口頭試問を含む場面指導	体育実技を指導する上で必要な技能を理解し、身に付けているか。
	音楽	・ 共通試験 ・ 選択A又は選択B	音楽を指導する上で必要な演奏技能や表現力を身に付けているか。
	美術	絵画及び立体表現	美術を指導する上で必要な技能や表現力を身に付けているか。
中学校 高等学校	英語	朗読及び英語による面接	英語を指導する上で必要な技能や能力等を身に付けているか。

3) 中学校英語・高等学校英語の実技試験免除の要件等

対象は中学校英語・高等学校英語の受験予定者のみとなります。

下記の英語外部試験におけるスコアを取得している者は、第2次選考における実技試験を免除し、実技試験の評定をAとして合否判定を行います。

英検	TEAP	GTEC	TOEFL(iBT)	TOEIC	IELTS	ケンブリッジ 英語検定
CSE スコア 2300～	309～	1180～ かつ S320 以上	72～ かつ S20 以上	L&R+S&W1095～ かつ S160 以上	5.5～	160～ かつ S が B2 以上

※ このスコアは、令和5年4月1日以降に取得したものに限ります。

令和8年度 宮城県公立学校教員採用候補者第2次選考

集団討議 課題

提示する課題	
1	教育現場における「不易と流行」について、変わるもの、変えてはならないものはどのようなものか、みなさんで意見を出し合ってください。その後、出された複数の意見から、優先して取り組む内容とその理由を話し合ってください。
2	令和の日本型教育では「個別最適な学びと協働的な学び」が重視されていますが、具体的にどのような取組が必要か皆さんで意見を出し合ってください。その後、出された複数の意見から、優先して取り組むべき内容とその理由を話し合ってください。
3	児童生徒が主体的に学習に取り組むためにはどのような取組が必要か、皆さんで意見を出し合ってください。その後、出された複数の意見から、優先して取り組む内容とその理由を話し合ってください。
4	いじめ防止に当たっては、法律の正しい理解とともに学校全体で組織的に対応することが求められています。そのことをどのように捉え、どのような取組が考えられるか、皆さんで意見を出し合ってください。その後、出された複数の意見から、優先して取り組む内容とその理由を話し合ってください。
5	メールやSNS等により児童生徒のいじめや問題行動が顕在化しにくくなっています。この問題を解決するためにはどのような取組が必要か、皆さんで意見を出し合ってください。その後、出された複数の意見から、優先して取り組む内容とその理由を話し合ってください。
6	教育活動を推進していくためには、学校と家庭、地域との連携が重要になります。保護者や地域から信頼されるために、大切だと思うことをあげ、皆さんで意見を出し合ってください。その後、出された複数の意見から、優先して取り組む内容とその理由を話し合ってください。
7	学校に登校していない児童生徒が増加し、その対応も多様化・複雑化しています。不登校のきっかけが、家庭環境(金銭的問題、家庭不和等)と考えられる場合、どのような支援が必要か、皆さんで意見を出し合ってください。その後、出された複数の意見から、優先して取り組む内容とその理由を話し合ってください。
8	東日本大震災を経験していない児童生徒が増加し、児童生徒の防災意識を高めることが課題と言われています。この現状をどのように捉え、どのように取り組むことが有効だと思いますか、皆さんで意見を出し合ってください。その後、出された複数の意見から、優先して取り組む内容とその理由を話し合ってください。
9	本県の課題の一つである児童生徒の学力向上について、現状をどのように捉え、どのように解決していくか、皆さんで意見を出し合ってください。その後、出された複数の意見から、優先して取り組む内容とその理由を話し合ってください。
10	学習指導要領に示されている「生きる力」をあなたはどのように捉え、学校でどのように育んでいきたいと考えますか。皆さんで意見を出し合ってください。その後、出された複数の意見から、優先して取り組む内容とその理由を話し合ってください。
11	地域の連携の重要性が叫ばれる中、一部ではPTA業務を外部委託するなどの動きも進んでいます。これから時代の「地域との連携」についてどのように考え、どのように取り組んでいかか皆さんで意見を出し合ってください。その後、出された複数の意見から、優先して取り組む内容とその理由を話し合ってください。
12	現代の児童生徒には、生活習慣の乱れ、メンタルヘルスの問題、性に関する問題など多様な課題があります。教諭(または養護教諭)として、児童生徒の心の健康を保持増進するためにはどのような取組が考えられるか、皆さんで意見を出し合ってください。その後、出された複数の意見から、優先して取り組む内容とその理由を話し合ってください。
13	宮城県では児童生徒の肥満傾向が続いている。この傾向を改善するために、具体的にどのような取組が考えられるかを皆さんで意見を出し合ってください。その後、出された複数の意見から、優先して取り組むべき内容とその理由を話し合ってください。
14	学校生活において、規範意識を育てることが求められています。最近、校則の意義について議論されていますが、よりよい校則(学校のきまり)の在り方について、どのような取組が考えられるか皆さんで意見を出し合ってください。その後、出された複数の意見から、優先して取り組むべき内容とその理由を話し合ってください。
15	働き方改革が推進され、様々な業務の見直しが図られる中、多忙化解消とともに教員の「多忙感」を解消することが重要です。多忙感を解消するためにはどのような取組が考えられるか、皆さんで意見を出し合ってください。その後、出された複数の意見から、優先して取り組むとよい内容とその理由を話し合ってください。

○ 令和8年度第2次選考「実技試験」実施内容一覧

校種 教科	実技試験内容
中学校 ・高等学校	<p>【共通】① 8小節程度の当日指定された旋律に伴奏をつけて、母音唱又は階名唱とピアノによる弾き歌いを行う。</p> <p>② 以下にあげる曲から当日指定の1曲を自分でピアノ伴奏をしながら歌唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「赤とんぼ」（三木露風作詞／山田耕筰作曲） ・「夏の思い出」（江間章子作詞／中田喜直作曲） ・「' O sole mio」（G・カプシロ作詞／E・カーブア作曲） <p>※主旋律を歌うこと</p> <p>※「' O sole mio」は原語による1番の歌唱のみ</p>
	【選択A】ピアノ、管、弦、打楽器のうちの楽器で任意の1曲を演奏する。
	【選択B】歌曲、アリアから任意の1曲を演奏する。
美術	<p>立体表現及び色彩表現（180分）</p> <p>与えられたモチーフを用いて、以下の2つの作品を制作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塑像 ・モチーフと塑像作品を配置した水彩画
保健体育	<p>下記の6領域それぞれにおける口頭試問を含む場面指導及び実技</p> <ul style="list-style-type: none"> ○器械運動「マット運動」「跳び箱」「鉄棒」 ○陸上競技「ハーダル走」 ○水泳「クロール」「平泳ぎ」 ○球技「バスケットボール」 ○武道「柔道」または「剣道」（選択） ○ダンス「創作ダンス」 <p>※試験時間は1領域4分程度</p>
英語	<p>面接（15分）</p> <p>① 英文朗読</p> <p>② 提示したテーマに関するスピーチと質疑応答</p> <p>③ 英語面接</p>